

小国高等学校生徒と県議会議員との意見交換会開催状況

開催日時	令和8年9月10日（木）15時30分～16時30分
開催場所	小国高等学校（小国町）
出席議員	渋間佳寿美、橋本彩子、相田光照、 <u>小松正和</u> 、 <u>伊藤香織</u> （ <u>下線</u> は広報・広聴委員）
参加者	1～3年生9名
意見交換の概要	①小規模校の特色ある教育（探究・地域連携）を持続可能にする仕組み、②若者が「山形で暮らしたい」と思える地域づくりをテーマとして、2班に分かれてワークショップ形式で意見交換を行った。また、生徒が各班で取りまとめた内容を発表した。 【主な意見等の内容】 ①小規模校の特色ある教育（探究・地域連携）を持続可能にする仕組み ・小国高校のことをもっと知ってもらいたいのので、もっと広報誌等の誌面で宣伝するなどするとよいのではないか。 ・宣伝に当たっては、まずは目に留めてもらえる・手に取ってもらえるような工夫が重要。 ・生徒が積極的に地域に出て行ってPRをしていくことが大事。 ・PRの動画や紙面を作って、後輩に伝えたり小規模校サミットなどの場でPRしたりするとよいのではないか。 ②若者が「山形で暮らしたい」と思える地域づくり ・若者が集まるイベントを企画・発信すると地域外の人に山形を知ってもらえる。音楽や地域全体が協力するようなイベントが盛り上がりやすいと思う。 ・イベントで人を集めるためには公共交通の充実強化が必要。小国町で言えば米坂線が運休して代行バスとなっており、不便に感じる。また、県全体で言えば、高速道路や新幹線の整備も足りてないと思う。 ・山形は自然が豊かで、ブランド米もあるため、若者が農業を始めたいと思えるようにすることも必要。その際、SNSなどで作業風景を配信するなどして農家の生活を知ってもらい、また、配信を収益化することもできるのではないか。